2025年度　町田市立金井小学校　学校経営計画・学校評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

令和8年3月31日

学校教育目標　「あたたかく　かしこく　たくましく」	学校経営の重点　学校の取り組みを家庭や保護者に共有し、コミュニティ・スクールとして共に取り組む。
○目指す学校像・・・・・・・「子供と大人の笑顔あふれる学校」子供が生き生きとした学校生活を送る。教職員が個性を発揮して子供の個性を伸ばし、よさを発揮させる。保護者や地域の方々の期待に応え、信頼を得る学校。 ○目指す児童・生徒像・・・金井小学校が大好きな子供　仲間の喜びや痛みを分かろうとする子供　何事にも本気で取り組む子供　心身ともに強い子供 ○目指す教師像・・・・・・・ 常に学び続け、子供のために親身になって職務に励む教師　保護者・地域との連携を推進し、信頼される教師	重点目標の成果と課題 （成果）・町田市研究指定校として、「学び続ける力の育成」の研究により、児童が自ら学習計画を立て、学習のゴールをイメージして、ICT機器を活用しながら学習を進める授業スタイルが児童に浸透し、児童自ら調整、決定して学習をする力がついた。今年度より「チーム金井」を発足し、様々な教育活動に保護者や地域の方に参画していただくことができた。 （課題）・学校の取り組みを家庭や地域にさらに発信し、児童の成長を共に実感し育てる、コミュニティ・スクールとしての役割を今年度以上に積極的に発信する。

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○%	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	地域の環境及び人材を生かした体験的活動を企画し、実施する。	VCと連携し、ゲストティーチャーや地域ボランティアを積極的に活用する。	4 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の90%以上を実施 3 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の80%以上を実施 2 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の70%以上を実施 1 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の実施が70%未満	4	A	A 学校評価アンケート肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート肯定的評価 55%未満	92%	A	全ての項目において、肯定的意見が90%以上であった。毎年4月に「365日学校公開」を保護者に周知することで、保護者がいつでも来校し、子供の学校生活の様子を積極的に公開することができた。また、毎日HP更新をしたり、学校や町田市教育委員会からの情報をこまめにテルル配信することで、保護者に安心感をもっていただけた。	地域と連携した教育活動において、各学年で年間計画を作成し、計画的に地域や近隣の大学、企業等と連携した体験学習を実施することができた。 来年度以降は人材バンク「チーム金井」の枠組みを広げ、さらに、地域の若者等、様々な立場の地域人材を活用したCSとなるように努める。	・コミュニティースクールとして本校は多くの活動を行っていると思います。 ・具体的方策が確実に実行されている。特に「365日学校公開」により保護者が子どもの学校生活確認できる事は素晴らしいと思います。 ・今後、注意していくこととしては、拡大、目新しさを追うことも重要な要素ですが、マンネリ化して沙り貰にならないことだと思います。そうならない工夫を取り入れ進めていただきたい。	A
		コミュニティ・スクールを通じて、本校の教育活動を周知し、意見交換を行う。	4 必要情報の90%以上を周知・意見交換 3 必要情報の80%以上を周知・意見交換 2 必要情報の70%以上を周知・意見交換 1 必要情報の70%未満を周知・意見交換	4	A	A 学校評価アンケート肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート肯定的評価 55%未満	95%	A				
		積極的な情報発信と公開を通して、教育活動への理解を求める。	学校だより・学年だより、ホームページの更新で保護者の安心できる情報を発信する。	4 週4回以上の更新 3 週3回以上の更新 2 週2回以上の更新 1 週1回以上の更新	4	A	A 学校評価アンケート肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート肯定的評価 55%未満	92%	A				
			保護者会、学校公開日、学校行事をはじめ、日常の教育活動も積極的に公開する。	4 90%以上のクラスで意識して公開に努めた 3 80%以上のクラスで意識して公開に努めた 2 70%以上のクラスで意識して公開に努めた 1 公開に努めたクラスが70%未満だった。	4	A	A 学校評価アンケート肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート肯定的評価 55%未満	98%	A				
確かな学力の育成	**子どもが主体的に学び、教師が導く**授業改善**改革**を進め、**主体的・対話的で深い学びを実現することで、**基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等**とともに学び続ける力**の育成**を図る。	授業をデザインする8つの取組を踏まえ、子どもが「分かる　できる　つくる　楽しい授業」を展開する。	個に応じた指導を徹底し、つまずきを取り除き、知識・技能を定着させる。	4 90%以上の授業で意識して指導した 3 80%以上の授業で意識して指導した 2 70%以上の授業で実施して指導した 1 70%未満の授業で実施して指導した	4	A	A 学校評価アンケート肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート肯定的評価 55%未満	91%	A	全ての項目において、肯定的意見が90%以上であった。 町田市研究指定校として「学び続ける力の育成」をテーマに授業改革を行ったきたことで、知識・技能の習得だけではなく、児童自ら学習のゴールをイメージして、選択や決定をしながら学習を深める児童が育っている。	2年間の研究が一区切りするが、2年間の成果と課題を明確にし、それを生かしながら「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を目指す。引き続き、全教職員で授業改革を図っていく。	・具体的な方策の設定はとても良くできていると思います。しなしながら個に応じた指導の徹底はどの程度できているのでしょうか。 ・クロムブックを利用し、テーマも子どもたち自身が決められるなど、ある程度の自由の中で学ぶ事が出来ていたと思います。コミュニケーションが苦手な子も、フィグジャムの利用により情報共有出来るなど、よかったと思います。 ・各先生が専門性、人柄、独創性を活かして、創意工夫されている姿が印象的な一年でした。同じ内容でも、先生とクラスによって違う展開になる様子に、可能性を伸ばそうという学校側の姿勢を強く感じました。	A
		自分の考えを多様な方法で表現させ、協働的な学習を導入する。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 70%未満の授業で実施	4	A	A 児童アンケート肯定的評価90%以上 B 児童アンケート肯定的評価80%以上 C 児童アンケート肯定的評価70%以上 D 児童アンケート肯定的評価70%未満	96%	A				
		学習への興味・関心を高め、主体的に「学び続ける」子どもを育てる。	教師・児童のクロームブックの活用を推進し、めあてに応じてICTを活用できる力を育てる。	4 100%の授業で実施 3 90%以上の授業で実施 2 80%以上の授業で実施 1 80%未満の授業で実施	3	B	A 児童アンケート肯定的評価90%以上 B 児童アンケート肯定的評価80%以上 C 児童アンケート肯定的評価70%以上 D 児童アンケート肯定的評価70%未満	99%	A				
			「見通しをもたせる導入」「ICT機器の活用」「価値ある対話の共有」「振り返りの設定」の4つに特化して取り組み、授業改善を図る。	4 全ての教育活動において意識して取組んだ 3 90%以上の教育活動で意識して取組んだ 2 80%以上の教育活動で意識して取組んだ 1 80%未満の教育活動で意識して取組んだ	4	A	A 児童アンケート肯定的評価90%以上 B 児童アンケート肯定的評価80%以上 C 児童アンケート肯定的評価70%以上 D 児童アンケート肯定的評価70%未満	90%	A				
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。	児童の自己有用感を高め、人との関わりを通して自分も友達も大切にできる態度を養う	委員会、クラブ、異学年交流活動、実行委員会、係活動など、子どもの主体的な活動を重視する。	4 90%以上の指導場面で実施 3 90%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 70%未満の指導場面で実施	4	A	A 児童アンケート肯定的評価90%以上 B 児童アンケート肯定的評価80%以上 C 児童アンケート肯定的評価70%以上 D 児童アンケート肯定的評価70%未満	96%	A	全児童で「読書年間22000冊」を目指し、3月2日時点で20000冊を超え、ほぼ達成することができた。保護者アンケートでは児童の読書に関する肯定的な回答が58%であった。学校での読書活動や朝の読み聞かせ活動など保護者に情報発信していくと同時に家庭での読書活動も啓発していく。 学級活動や道徳の時間と連携しながら、いじめ防止についての授業を毎学期2回以上実施した。	電子図書館も活用しながら授業だけではなく、朝や休み時間の読書活動も推進していく。また、HPやトル配信も活用して読書活動についての情報発信をしていく。 学級活動や普段の道徳の授業だけではなく、外部講師を活用した「アンガーマネージメント」等の体験授業も実施していじめ防止へつなげていきたい。	・読書活動はいろんな力を養うための基本となる活動であり、22000冊は冊数としては1人当たり決して多くないとも言えますが、冊数だけを追わず質を求めていくべきだと考えます。 ・いじめなどの問題は、高学年になるといじめとまでは言わずとも大人に見えづらい形で進むこともあるかなと思います。しかし道徳的な心の成長は子ども達はきちんと教育を受けて学び育てられていると思います。	A
			読書活動を推進する。 学校図書館貸出冊数22,000冊	4 児童アンケート肯定的評価90%以上 3 児童アンケート肯定的評価80%以上 2 児童アンケート肯定的評価70%以上 1 児童アンケート肯定的評価70%未満	4	A	A 学校評価アンケート肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート肯定的評価 55%未満	58%	C				
		生命を大切にする心や他人を思いやる心、規範意識等を育む。	人権を相互に尊重する姿勢を育て、いじめを絶対に見逃さない生活指導を行う。	4 いじめ防止の授業を月に1回以上指導実施 3 いじめ防止の授業を学期に2回以上指導実施 2 いじめ防止の授業を学期に1回以上指導実施 1 いじめ防止の授業を年に2回以上実施	3	B	A 学校評価アンケート肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート肯定的評価 55%未満	81%	A				
			道徳科の授業では道徳的価値に基づく自己の振り返りの時間を設置し、道徳的実践力を育てる。	4 すべての道徳授業で指導実施 3 90%以上の道徳授業で指導実施 2 80%以上の道徳授業で指導実施 1 80%未満の道徳授業で指導実施	4	A	A 学校評価アンケート肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート肯定的評価 55%未満	84%	A				
健やかな体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する.	運動の日常化と健康教育及び食育の充実を図り、基礎体力の向上を図る。	体育科の授業の充実を図ると共に、外遊びを奨励し、運動の日常化を図る。	4 90%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 70%未満の授業で実施	4	A	A 80%以上の児童が課題項目で体力が向上 B 70%以上の児童が課題項目で体力が向上 C 55%以上の児童が課題項目で体力が向上 D 55%未満の児童が課題項目で体力が向上	95%	A	体育の授業だけではなく、休み時間を活用して学年ごとに体育的活動「たいかつ」を実施し体力向上や運動の日常化を図った。 国語科、生活科や総合的な学習の時間、家庭科の学習と連携した健康教育や食育を実施した。 （グリンピースの皮むき、エコクッキング、「すがたをかえる大豆」出張授業）	引き続き、運動の日常化を目指し、「たいかつ」だけではなく休み時間の外遊びも推奨していく。 全学年で年間1回以上、栄養士を活用した食育や健康教育の授業を実施し、食育や健康教育を推進する。	・具体的方策が確実に実行されている。特に「たいかつ」、食育、健康教育は確実に実行され、素晴らしいと思います。 ・実践を伴う活動が工夫を凝らして十分いきわたっているように思います。この実践もより進めていけることが期待されます。 ・校庭でも元気に遊ぶ姿を目にします。コロナ後はよく骨折している子を見ましたが、この1年はそういった子の姿も特に私からは見かけず元気な姿で子ども達は遊んでいました。	A
		生活リズム定着週間を活用し、家庭と連携した健康教育と食育を推進する。（早寝　早起き　朝ごはん）	4 全ての指導場面で実施 3 90%以上の指導場面で実施 2 80%以上の指導場面で実施 1 80%未満の指導場面で実施	4	A	A 学校評価アンケート肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート肯定的評価 55%未満	81%	A				
		安全な環境を整備し、自己・他者の命や心身を守る力を育成するための全校体制を徹底する　とく	全ての教育活動において、遊びのルール、廊下・階段の歩行など「生活のやくそく」を守って生活する。	4 90%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 70%未満の指導場面で実施	4	A	A 児童アンケート肯定的評価90%以上 B 児童アンケート肯定的評価80%以上 C 児童アンケート肯定的評価70%以上 D 児童アンケート肯定的評価70%未満	98%	A				
			毎週金曜日に危機管理情報を共有し、専門機関とも連携を図り、チーム支援力を高め指導充実を図る。	4 90%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 70%未満の指導場面で実施	4	A	A 学校評価アンケート肯定的評価 80%以上 B 学校評価アンケート肯定的評価 70%以上 C 学校評価アンケート肯定的評価 55%以上 D 学校評価アンケート肯定的評価 55%未満	95%	A				
その他													

取組指標の評価基準（結果数値からABCD評価へ）

取組指標平均	3．5以上	⇒ 評価A
取組指標平均	3以上3．5未満	⇒ 評価B
取組指標平均	2以上3未満	⇒ 評価C
取組指標平均	2未満	⇒ 評価D

※　学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。

成果指標評価基準

成果指標平均	80%以上	⇒評価A
成果指標平均	70%以上	⇒評価B
成果指標平均	55%以上	⇒評価C
成果指標平均	55%未満	⇒評価D

学校関係者評価の評価基準例

A⇒　取組・成果ともに十分評価できる
B⇒　取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C⇒　目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
D⇒　重要な課題であるため、次年度、重点的に改善

※　学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。